

2月の需給展望
<豚肉>

出荷減少と鶏肉の需給不安、代替え需要で相場は強気
月平均相場 450 円予想も需給の不透明さで波乱含み

1月の食肉の末端需要は、正月の出費増の反動により牛肉、豚肉、鶏肉ともに低迷した。豚肉は単価の高いロース、カタロースの需要が鈍り、相場の足を引っ張ったが、出荷頭数の減少により枝肉相場は前年を10円上回る428円(東京市場)となった。2月は、出荷減に加えて鳥インフルエンザの発生により鶏肉の代替え需要が強まってくる可能性があり、相場はギリ高展開となりそうだ。どこまで上がるかは、今後の鶏肉の出荷動向とその代替え需要の動向にかかっており、波乱含みの相場展開も予想される。今後の鶏肉も含めた需給動向が注目されるところ。

[供給見通し]農水省の肉豚出荷予測によると2月の宮崎県を除く出荷頭数は前年比2%減の121.2万頭となっている。これに口蹄疫の影響を受けた宮崎県を含めた全国出荷頭数は前年比4%減の127.9万頭前後と予想される。稼働日1日当たりの出荷頭数は6万7,300頭前後と予想され、前月より4,000頭以上減少する予想。地域別では、口蹄疫の影響とPRRSの影響により九州方面の出荷はかなり減少し、西日本方面の供給は薄くなるものとみられる。

一方、チルド豚肉の輸入量は、12月は2.1万t(前年1.8万t)と増加したが、1月は1.8万t前後(前年1.7万t)、2月も1.9万t前後(前年1.8万t)と前年をわずかに上回る水準と予想される。ただ、国産相場高予想で後半の輸入が増える可能性もある。

[需要見通し]1月の豚肉需要は、例年のパターン通り、正月の出費増の反動による節約ムードの強まりと鶏肉の代替え需要がなくなったことから低迷した。末端の低価格志向も強まり、売れ筋はバラが中心となり、ロース、カタロースは輸入チルドとの競合も加わり苦戦。前半低迷したウデ、モモは後半に入って一時より引き合いがでてきている。

2月は、鳥インフルエンザによる鶏肉の需給動向が大きな鍵となってきそう。宮崎県を中心に感染が確認されている鳥インフルエンザは1月31日現

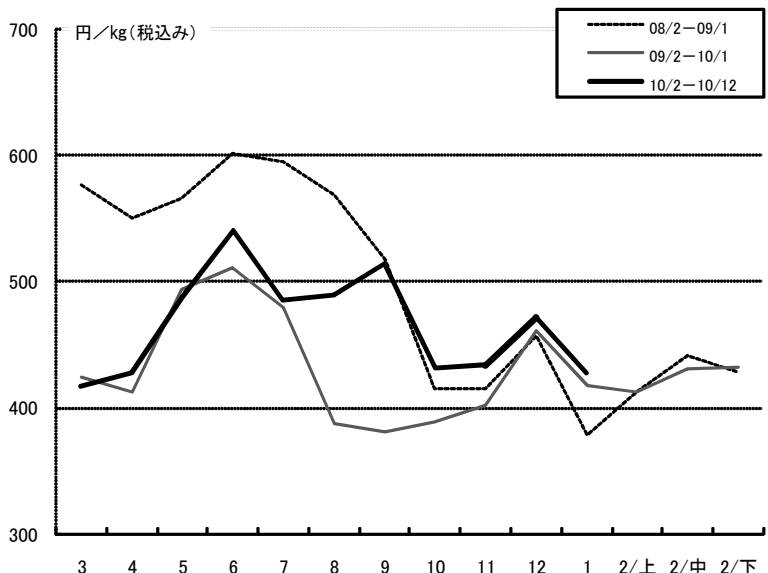
在6例目の感染が確認されている。半径10km以内の地域は移動制限が取られているため、同地域からの出荷はかなり減少するものとみられ、今後の発生状況によってはさらに減少する可能性もある。

こうした状況を反映して、ここに来て末端の豚肉の引き合いが強まりつつある。2月の3連休の特売用としてウデ、モモへの引き合いも強まっている。チルド豚肉の輸入はそれほど多くないため、前半は国産のスソ物部位の需要が強まるものとみられる。

[価格見通し]業界内では、早くも「相場がどこまで上がるのか」に関心が集中している。当初、2月の相場は1月の末端消費が低迷したことから430円前後との見方が多かったが、鳥インフルエンザの感染拡大により高値予想に一転。業界内での2月の相場予想は「430~440円」から、今後の鶏肉の供給動向によっては「一時的には500円相場もあり得る」など、バラつきが大きい。

2月早々の1日の相場は、月初の在庫補充買いもあって479円と急上昇したが、中下旬にかけては高値反動により値下りに転じるものとみられる。今後の鶏肉需給、代替え需要の動向にもよるが、2月の月平均相場は450円前後と予想される。ただ、今後の食肉需給の不透明感が波乱要因となっており、一時的には500円台の高値相場もあり得そう。

東京市場の豚枝肉相場(上物)の推移



○ 輸入品の出回り量好調で輸入品在庫量は14.2万tに減少—12月豚肉需給

農畜産業振興機構が発表した12月の豚肉需給表によると、同月の総供給量は14万1,828tとなったのに対して出回り量は14万8,782tとなったため、12月末の在庫量は前月より6,983t減少して16万8,003t(前年比3.0%増)と、4ヵ月続けての大幅減少となった。特に輸入豚肉は、輸入量5万9,929tに対して出回り量が6万7,481tとなったため12月末在

庫は前月より7,552t減少して14万1,531tと、当初予想通りの大幅減少となった。国産品の在庫は前月より569t増加したが2.6万t台と依然低水準にある。

海外産地の価格高、国産枝肉相場高の状況からみて、輸入品、国産品を含めた冷凍品の在庫は、今後夏場にかけてさらに減少する可能性があり、今後の在庫動向が注目される所。

△ 豚肉需給の推移

(部分肉ベース、単位:t、カッコ内前年同月比%)

	生産量	輸入量	推定期末在庫			推定出回り量		
			輸入	国産	計	輸入	国産	計
平成19年度	872,419 (100)	754,593 (102)	158,553 (95)	11,994 (70)	170,547 (92)	763,891 (101)	877,555 (100)	1,641,445 (100)
20年度	882,192 (101)	815,063 (108)	166,280 (105)	27,856 (232)	194,136 (114)	807,336 (106)	866,049 (99)	1,673,386 (102)
21年度	922,621 (105)	691,949 (85)	141,857 (85)	29,922 (107)	171,779 (89)	716,372 (89)	920,441 (106)	1,636,813 (98)
22年								
1月	77,793 (100)	56,492 (92)	142,981 (90)	28,059 (102)	171,040 (92)	50,933 (87)	79,279 (104)	130,212 (96)
2月	73,069 (101)	52,022 (92)	140,165 (87)	27,857 (96)	168,022 (88)	54,838 (102)	73,258 (103)	128,095 (103)
3月	81,397 (106)	63,533 (99)	141,857 (85)	29,922 (107)	171,779 (89)	61,841 (104)	79,320 (102)	141,161 (103)
4月	80,010 (103)	69,334 (111)	141,389 (85)	33,386 (109)	174,775 (89)	69,802 (112)	76,538 (103)	146,340 (107)
5月	70,485 (99)	64,724 (105)	152,520 (88)	32,784 (106)	185,304 (91)	53,593 (97)	71,083 (100)	124,676 (99)
6月	72,132 (98)	76,750 (125)	167,260 (94)	33,661 (114)	200,921 (97)	62,010 (109)	71,243 (95)	133,253 (101)
7月	70,566 (96)	70,810 (114)	174,686 (101)	32,758 (114)	207,444 (103)	63,384 (94)	71,454 (97)	134,838 (96)
8月	67,925 (99)	66,461 (126)	175,184 (107)	32,733 (115)	207,917 (109)	65,963 (107)	67,942 (99)	133,905 (103)
9月	71,565 (95)	55,662 (110)	168,362 (109)	30,175 (110)	198,537 (109)	62,484 (106)	74,116 (97)	136,600 (101)
10月	75,474 (90)	56,189 (101)	157,899 (107)	28,268 (100)	186,167 (106)	66,652 (106)	77,372 (93)	144,024 (98)
11月	81,442 (99)	60,640 (116)	149,083 (105)	25,903 (88)	174,986 (102)	69,456 (120)	83,790 (103)	153,246 (110)
12月	81,899 (96)	59,929 (98)	141,531 (103)	26,472 (90)	168,003 (101)	67,481 (103)	81,301 (96)	148,782 (99)

資料:農水省「食肉流通統計」、財務省「日本貿易月表」、在庫量は農畜産業振興機構調べ。

○ 供給0.4万t減の8.2万t、出回り8.2万t、在庫は変わらず—12月牛肉需給

農畜産業振興機構がまとめた10年12月分の牛肉需給表によると、供給量は前月比で3,727t増加し8万2,365t、推定出回り量は前月比905t減の8万2,074t、この結果、推定期末在庫は202t減の9万1,912tでほぼ前月並みとなった。

供給量は国産が1,347t増の3万6,382tだったものの、11月に5万tを超した輸入は外貨高などにより前月比5,074t減の4万5,983

tとなった。推定出回り量は、輸入品が4万6,730tと前月に比べ2,562t減、国産は逆に1,657t増の3万5,344tとなり、年末需要で輸入から国産にシフトしたことがうかがわれる。推定期末在庫は、輸入品が747t減の7万7,850t、国産品は951t増の1万4,064tだった。1~2月の輸入は外貨高、洪水などにより減少が見込まれるため、在庫は減少に向かうものとみられる。

△ 牛肉需給の推移

(単位:t、カッコ内前年同月比%)

	生産量	輸入量	推定期末在庫			推定出回り量		
			輸入	国産	計	輸入	国産	計
07年度	358,928 (104)	463,119 (99)	62,722 (95)	10,091 (98)	72,813 (95)	466,521 (103)	358,774 (103)	801,294 (103)
08年度	362,620 (101)	469,643 (101)	66,553 (106)	12,701 (126)	79,254 (109)	465,812 (100)	359,459 (100)	825,271 (100)
09年度	361,504 (100)	475,427 (101)	57,429 (86)	11,642 (92)	69,071 (87)	484,551 (104)	361,886 (101)	846,437 (103)
10年								
1月	26,143 (97)	28,641 (78)	64,917 (95)	13,302 (100)	78,219 (96)	35,434 (96)	26,317 (95)	61,751 (95)
2月	26,262 (98)	33,118 (85)	60,353 (87)	12,395 (94)	72,748 (89)	37,682 (99)	27,120 (101)	64,802 (99)
3月	29,868 (104)	42,813 (122)	57,429 (86)	11,642 (92)	69,071 (87)	45,737 (114)	30,538 (104)	73,275 (114)
4月	31,781 (101)	44,269 (111)	58,851 (98)	12,082 (100)	70,933 (98)	42,847 (93)	31,264 (97)	74,111 (95)
5月	27,605 (101)	36,122 (112)	64,236 (105)	9,263 (81)	73,499 (101)	30,737 (98)	30,415 (109)	61,152 (103)
6月	27,905 (96)	43,701 (92)	67,593 (102)	9,894 (87)	77,487 (100)	40,344 (95)	27,257 (93)	67,601 (95)
7月	30,847 (96)	43,241 (87)	69,784 (98)	11,962 (92)	81,746 (97)	41,050 (92)	28,766 (94)	69,816 (93)
8月	28,094 (102)	45,386 (117)	78,611 (107)	10,432 (81)	89,043 (103)	36,559 (100)	29,603 (107)	66,163 (103)
9月	29,064 (101)	52,081 (143)	80,503 (108)	11,273 (90)	91,776 (105)	50,189 (144)	28,187 (97)	78,376 (123)
10月	30,316 (95)	33,556 (68)	76,832 (102)	11,817 (99)	88,649 (101)	37,227 (77)	29,737 (92)	66,964 (83)
11月	35,035 (102)	51,057 (150)	78,597 (102)	13,113 (108)	91,710 (103)	49,292 (150)	33,687 (99)	82,979 (124)
12月	36,382 (99)	45,983 (108)	77,850 (109)	14,064 (104)	91,912 (108)	46,730 (98)	35,344 (101)	82,074 (99)

(注) 数量は部分肉ベース、輸入量は煮沸肉を含む、またくず肉のうちほ肉及び頭肉のみ含む。

○ 関東・関西輸入チルド牛肉仲間相場 (23日)

※価格は参考値

(円、消費税含まず)

豪州	グラス		ショートグレイン※		ミドルグレイン※	
チャックロール	660	700	840	900	920	960
クロッド	630	670	700	750	750	790
チャックテnder	700	720	700	750	750	780
キューブロール	1,600	1,700	1,800	1,900	2,200	2,300
ポイント	630	650	700	720	780	820
ナーベル	610	630	680	700	880	930
ストリップロイン	1,200	1,300	1,550	1,600	1,950	2,150
テnderロイン	2,550	2,650	2,850	2,890	2,750	2,950
ランプ	760	840	820	930	850	900
シックフランク	700	720	800	820	810	830
トップサイド	740	760	850	880	850	880
シルバーサイド	640	670	710	740	720	760
セット・単品合計	820	860	940	990	1,030	1,090
(前年)	770	810	830	870	1,000	1,060

[概況]チルドグラスはジリ安に、グレインは高唱え推移続く

今週に一部で入船遅れがあるものの、通関量は増えており、グラス玉は不足感が解消されつつある。外貨が下げ傾向にあるうえに月末・決算期も控えていることから現物の商いは当用買いに変わってきているが、比較的玉が薄いポイントやテnder、シックなどの引合いはまずまずの状況にある。そのため唱え値も玉が少ない一部アイテム以外はジリ下げとなり、今後も弱基調が続く可能性も。対日輸出価格もグラスはフルセットで3ドルを割るなど前月からは大分落ち着いている。とはいえ前年比では1割程度高値にあり、生産コストも上がっていることから何らかのタイミングでリバウンドする懸念も払しょくできない。ショートはチャックロールやクロッド、ポイント、チャックテnder、モモ系の引合いが堅調だが、依然出回りは少ない。多少入荷量が戻していることで量販対応でのパニック的な状況は收拾しつつあるが、それでも既契約分でギリギリのために市中で拾い辛く、依然として大口のオファーは出てこない。外貨も3.2ドルとゆり戻す気配を見せており、キャトルの少なさと豪ドル高、他国との競合もあり、今後も高唱えで推移するとみられる。

米 国	アングレ		チョイス		プライム	
ステーキレディ	1,400	1,500	1,600	1,800	—	—
テnderロイン	2,750	2,850	2,950	3,100	—	—
リブアイロール	—	—	1,900	2,100	—	—
チャックアイロール	—	—	880	960	1,050	1,150
チャックリブ	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500
ショートリブ	2,000	2,100	2,200	2,400	—	—
パストラミ	—	—	800	850	—	—
チャックフラップ	950	1,050	1,150	1,250	1,300	1,400
フラップミート	—	—	1,150	1,250	—	—
リブフィンガー	950	1,050	1,050	1,150	—	—
カルビプレート	—	—	—	—	—	—

[概況]焼き材中心に玉薄く、堅調な相場展開つづく

USチルドは引続き入荷量が減少しているため、焼き材を中心に玉は薄めにある。ただ、チャックアイなどは引続き末端からの引合いもまずまずで荷動きも堅調に推移している。2月生産・3月現物玉の外貨も前月と同様高値にあり、日本サイドも決算期を控えているため買付けはさほど多くはなさそう。繰越し在庫も少ないとみられる一方で、焼き材の引合いも出始めており、量販店の棚替えに向けて焼き材関係は締まってゆきそうだ。